

測定・除染求める

内部被ばくでかち議員
都議会委

日本共産党のかち佳輝之環境局長が局所的
代子東京都議は21日の
都議会環境・建設委員
会で、都民の内部被ば
くを減らすため、都が
測定と除染を行うよう
求めました。

党都議団の調査で、
水元公園(葛飾区)で
は環境省の除染基準
(1日で毎時1ミリ以
上)未滴の空間線量地
点の土壌から最高2万
3000ルベを検出した
ことが判明していま
す。
かち氏は、都議会予
算特別委員会で、大野

輝之環境局長が局所的

汚染について、測定も

除染も拒否したことを

批判。放射線障害防止

法では、2万3000

ルベ(1ミリあたり)の

土が1・6ミリあるだ

けで放射線管理区域外

に出してはいけない基

準だと指摘。「汚染さ

れた土が風で飛び、遊

んでいる子どもたち

が吸い込んだり、口に

入れてしまってもか

まわないというのか」

と述べ、内部被ばくを

減らすために、都とし

て総合的な対策を立

てることを求めまし
た。

大野環境局長は、局
所的な汚染について

「特段の対応は必要な
い」、中村豊環境改善

部長は「土の吸入、口
からの摂取などの全体

に対する割合が少ない
と推計されている」と

し、測定・除染を拒否
しました。